

## 令和5年度 第1回 北部中学校運営協議会 会議録

1. 開催日時 令和5年5月11日(木)14時00分から16時00分
2. 開催場所 北部中学校 会議室
3. 出席委員 平間 一彦 遠藤 喜和 小林 宏彰  
佐野 孝輔 高木早由里
4. 欠席委員 谷口 幸子
5. 学校支援コーディネーター 渡邊 薫
6. 学校 佐野 政光(校長) 村松 還(教頭) 茂 一美(CS担当職員)  
平松 光宏(生徒指導主事) 鈴木 千佳(CSディレクター)
7. 教育委員会 清水 悠(教育総務課)
8. 傍聴者 なし
9. 協議事項
  - (1)会長の選出および副会長の指名について
  - (2)議長の選出について
  - (3)今年度の学校経営方針について
  - (4)いじめ防止等のための基本的な方針について
  - (5)夢育やらまいか事業に対する意見書について
10. 会議録作成者 鈴木 千佳(CSディレクター)
11. 会議記録
  - ・司会の教頭より委員総数6人のうち5人の出席があり過半数に達しているため、会議は成立している旨の報告があった。
  - ・初めに校長より挨拶があり、続いて新規委員の任命が行われ、出席者が自己紹介を行った。
  - ・教育委員会から学校運営協議会規則(第3・5・10・11条)について説明があった。
  - ・熟議に先立ち、委員の方々に授業・校内風景をご参観いただいた。
  - (1) 会長の選出および副会長の指名について  
司会の教頭から会長の選出について意見を求めたところ、平間委員より自薦があり、全員異議なくこれを承認した。またその後、会長に選出された平間委員から佐野委員を副会長に指名する旨の報告があった。
  - (2) 議長の選出について  
司会から議長の選出について意見を求めたところ、平間委員より自薦があり、全員異議なくこれを承認した。

(3) 今年度の学校経営方針について

議長の指示により、校長から別紙資料に基づき今年度の学校経営方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・以前にはマスコミ報道などにより一部保護者の行動や行為が問題になったことがあったが、大人は簡単には変わることができない。そこで大切なのは子供への教育であり、柔軟性のある子供たちをよい方向へ変えることによって、親が変わるケースもあるのでは、と思う。(平間委員)
- ・以前に比べ学校全体が落ち着いてきたのは、時代ということもあるが、発達支援教育がうまくいっているからでは、と思う。北部中の発達支援教育の様子はどのようなようであるか？(遠藤委員)  
→発達支援学級・通常学級問わず、職員が生徒一人一人に対し、その子のニーズに合わせて柔軟に対応を変えてくることがとてもうまく機能している。本校に限らず浜松市全体がそうなのではないか。子供たちは安心して学校に来てくれているのではないかと感じている。(校長)
- ・自尊感情を大切にしながら大人になることがキャリア教育につながると思う。(遠藤委員)
- ・自分を大事にすることが大事。日々の教育の中で子供一人一人の存在価値を認め、声掛けをすることが大事。その中でCSとしてできることがあればやっていきたい。(佐野委員)
- ・ここ数年はコロナ禍で行事中止や変更が多かった。今年度は保護者も行事参加ができるようになり、また1からという思い。外部との交流によりグランドデザインの理想を実現できれば素晴らしい。(高木委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(4) いじめ防止等のための基本的な方針について

議長の指示により、生徒指導主事から別紙資料に基づきいじめ防止基本方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・いじめは生徒間に限らず、生徒から教師へのいじめもあるように思う。  
先生が遠慮しすぎではないか。教師は畏敬の念を感じられる存在であることも必要では。(平間委員)  
→子供に限らないが、自分を理解してくれている人の言うことは聞くもので、そのようなアプローチをすることが大切だと思う。本校では子供の方から先生に相談することも多い。子供が気軽に声を掛けやすい環境を作るのが大切だと思う。(校長)

(5) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

教頭から別紙資料に基づき、夢育やらまいか事業の趣旨説明およびCS加算分に対する意見書について説明があった。委員から子供のキャリア教育に寄与するように使ってほしいとの意

見が出た。

○その他の連絡事項

次回以降の学校運営協議会の開催日時と今後の学校行事予定の連絡があった。

○次回の開催日時

令和5年11月20日(月)14時00分から